

学校番号	404
------	-----

令和5年度 学 看護総合科

教科	学 看護総合	科目	(学)看護医療基礎 I	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書							
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

社会の中での看護医療問題に関心を持ち、常に新聞等で最新の情報について確認しておく。それに対して自分の意見を持ち、文章表現できるような力を養う。看護医療従事者として働く上で必要な資質を身につける。

2 学習の到達目標

看護医療の精神を学び、人格を向上させ、各人なりの看護感を育てる芽をつくる。専門職として看護とはどのようなものかを理解する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	得た知識をもとに、看護医療の現場で生かしていくことを考える。 看護技能の基礎となる救急看護を学ぶ。	看護医療従事者として働く上で必要な資質を身につけ、それを言語表現・文章表現する。	常に社会の中での看護医療問題に関心を持つ。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	看護の成り立ち—現代社会における看護とは	<ul style="list-style-type: none"> ・医療現場における社会的ルール ・医療系の他職種について ・看護の歴史 	a: 挨拶・団体行動・上下関係を理解したか。 b: 仕事に対する姿勢への応用 c: 看護・医療の現場に関心を持ったか	レポート 定期考 査	レポート 小論文	授業への取り組み
		<ul style="list-style-type: none"> ・社会から要請される看護とは ・保健師、助産師、看護師法について ・健康の定義 ・ヘンダーソンによる看護の基本的構成因子14項目 	a: 看護を展開していくための基本的項目が理解できたか b: 自分が考える看護について文章表現できたか c: 必要とされる看護に関心を持ったか	レポート 定期考 査	レポート 小論文	授業への取り組み
2		<ul style="list-style-type: none"> ・急を要する症状と看護 ・観察とコミュニケーション 	a: 看護における観察とコミュニケーションの重要性について理解したか b: コミュニケーションの重要性とその実践 c: 緊急の看護に関心を持ったか	レポート 定期考 査	レポート 小論文	授業への取り組み
		<ul style="list-style-type: none"> ・看護師への適性と各人の進路の確認 	a: b: 将来 40 年働くことを念頭において、進路を考えているか c: 看護師になりたい理由が明確か、自分の将来像を考えているか	レポート 定期考 査	レポート 小論文	授業への取り組み
3	看護の成長・発達 看護における人間の理解、人間	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の対象と対象を取り巻く環境について ・各年代の生理的、心理的特徴 	a: 各年代の特徴を理解し、患者の年齢を知る意味を理解できたか b: 看護で活用されている理論について考えることができたか c: 人間の各年代の特徴について関心を持ったか	レポート 定期考 査	レポート 小論文	授業への取り組み

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

「学校設定教科」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	看護総合	科目	(学)看護国語	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	専門学校受験 看護医療系の小論文						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

看護・医療に携わる時に必要な国語力を身につけるためには、自らが課題を見つけ、解決していく姿勢が大切である。看護医療入試に対応出来る力を養うため、基本的な語彙力と読解力をつけるための家庭学習を積極的に行って欲しい。授業は、小論文に対応できる力をつけることを中心に行うが、面接に対応するコミュニケーション力をつけるため、グループ・ワークも取り入れ他者との対話の中で自らの意見をまとめる練習も行う。最後に自ら課題を発見しその解決に向かう練習としてレポート作成に取り組む。

2. 学習の到達目標

医療に携わる人間に必要な国語力を養う。
基本的な読む・聞く・話す・書く力を強化し、相手の立場に立って、他者と共同して問題を解決していく姿勢を身につける。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観点の趣旨	文章を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	文章を自らの考えに照らして批判的に読み、目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分考えを深め発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化および言語の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	授業態度 発問への対応 学習課題の提出	授業態度 発問への対応 学習課題の提出 感想文の提出	授業態度 発問への対応 学習課題の提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問への対応 学習課題の提出 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	小論文の基礎	・文章の書き方 ・小論文の基本形 ・原稿用紙の使い方	◎		○	◎	a: 問題集の予習 b: c: 基礎的な表現力を身に付けている d: 小論文の書き方を理解している	授業態度 課題の提出 振り返り
1	基本的な語彙力・読解力の育成	・問題集の評論, 小説の解答 ・小テストを実施 ・評論の要約練習	○	◎	○	◎	a: 問題集の予習 b: 課題文を読み取る力がある c: 要約文をまとめる d: 定期考査での読解	授業態度 課題の提出 小テスト 定期考査
2	小論文指導	・出題内容に沿った小論文の書き方のパターンを理解している。・過去問題での練習	◎	○	◎	○	a: 自分の考えを表現している b: 根拠のある自分の考えを持つことができる c: 適切な表現を用いた文章を書くことができる d: 看護医療関係の基礎知識を持っている	授業態度 課題の提出 振り返り
2	発展的な語彙力・読解力の育成	・問題集の評論, 小説の解答 ・小テストを実施 ・評論の要約練習	○	◎	○	◎	a: 問題集の予習 b: 課題文を読み取る力がある c: 要約文をまとめる d: 定期考査での読解	授業態度 課題の提出 小テスト 定期考査
2	他者と協働して課題に取り組み達成する力の育成	・課題を決め、情報を集め、まとめて発表する	○	○	○	◎	a: 課題についての本を検索し、調べる b: グループワークでの情報のやり取りに必要な適切な表現ができる c: 情報を集め、まとめることができる d: 看護医療関係の基礎知識を持っている	授業態度 課題の提出 小テスト 定期考査
3	医療現場での課題を考える	テーマを選択し、インターネットや本などで調べて、意見をまとめる。発表を聴き合って、相互評価する	◎	◎	◎	◎	a: 現場での課題に関心を持つ b: 自分の考え、意見をしっかり持ち、発表できる c: 情報を集め、まとめることができる d: 相互評価することで、様々な現場の課題を理解する	授業態度 課題の提出 振り返り

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

「学校設定教科」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	看護総合	科目	(学)看護数学	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「 」 (出版)						
副教材等	「看護医療学校受験 増訂版 オープンセサミシリーズ 問題集② アクセス 数学 I・A」 (七賢出版)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

事前に学習する単元の公式等を復習し、テキストの問題に取り組んでおくこと。その後、授業の中で正しい解答や別解を確認し、知識・技能の定着を図る。さらに発展的な問題に取り組み、実践力を養う。

2. 学習の到達目標

第1学年で学習した数学 I・Aの内容の復習を行い、思考力, 応用力を養い、数学の力の定着を図る。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	計算をする、式を立てる、グラフをかく、図形をかく、証明をする等をおして数学に関心をもち意欲的に取り組む。	数学的な考え方ができる力を身につける。論理立てて考える力を養う。	練習問題に取り組み、技能の定着を図る。	応用問題に取り組み、入試問題に対応できる力を養う。
評 価 方 法	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

「学校設定教科」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	看護総合	科目	(学)看護数学演習	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「 」 (出版)						
副教材等	「改訂版 Study-Upノート 数学 I + A 」 (数研出版)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

事前に学習する単元の公式等を復習し、テキストの問題に取り組んでおくこと。その後、授業の中で正しい解答や別解を確認し、知識・技能の定着を図る。さらに発展的な問題に取り組み、実践力を養う。

2. 学習の到達目標

第1学年で学習した数学 I・Aの内容を基礎から確認し、定着を図る。様々な演習問題に触れることで数学の力の定着を図る。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	計算をする、式を立てる、グラフをかく、証明をする等とおして数学に関心を持ち意欲的に取り組む。	数学的な考え方ができる力を身につける。論理立てて考える力を養う。	練習問題に取り組み、技能の定着を図る。	応用問題に取り組み、入試問題に対応できる力を養う。
評 価 方 法	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	数と式	①式の計算 ②実数 ③1次不等式 ④集合と命題	○	○	○	○	a: 数学の基礎となる計算力をつけることに意欲的か b: 正しい計算、正しい証明を身につけたか c: 正しい計算、正しい証明を身につけたか d: 正しい計算、正しい証明を身につけたか	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査
1	2次関数	①2次関数とグラフ ②2次関数の値の変化 ③2次方程式と2次不等式	○	○	○	○	a: いろいろな関数の中で基本となる2次関数を学ぶことに意欲的か b: 2次関数のグラフをかけるか c: 2次関数のグラフを利用した問題を解く。 d: グラフを利用したさまざまな応用問題を解く	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査
2	図形と計量 データ分析	①三角比 ②三角形への応用 ③データ分析	○	○	○	○	a: 三角比を利用して距離・高さが計量できることに興味をもつ。 b: いろいろな定理・公式の成り立ちを理解する。 c: 定理・公式を使って図形の中の長さ・角度を求める。 d: 空間図形への応用	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査
2	場合の数と確率 整数の性質	①場合の数 ②確率 ③約数と倍数 ④ユークリッド互助法 ⑤整数の性質の活用	○	○	○	○	a: 世の中の場合の数、確率の事象に興味を持つ。 b: 事象を式にできるか。 c: 場合の数を求められるか。 d: 場合の数から確率を考えられるか。	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査
3		総合演習	○	○	○	○	a: これまでに学んだことを使い入試問題に取り組む。 b: それぞれの問題を解くにあたり、必要な知識を使えるか。 c: それぞれの問題を解くにあたり、必要な知識を使えるか。 d: それぞれの問題を解くにあたり、必要な知識を使えるか。	授業態度 ノートの内容 小テスト 課題提出 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

「学校設定教科」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	看護総合	科目	(学)生命科学	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「改訂版 生物」(数研出版)						
副教材等	「三訂版 リードLightノート 生物」(数研出版)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

地球上で営まれる生命活動はすべてにおいて神秘的である。解明されていないものはまだまだたくさんあるが、現在わかっていることについては、先人の研究で得られた知識を取り込み、実験・観察などによりその内容をしっかり理解するのはもとのこと、更に新しい疑問を持ち探究する意欲を高めてほしい。一方、ヒトはあくまで自然界の一員であるので、探究意欲を持ちながらも、活動するときには自然と調和していく姿勢は決して忘れることのないようにしてもらいたい。

2. 学習の到達目標

医療現場での応用も含め、生命科学の分野における新しい知見を学ぶ。また、生きていくために必要な、生物(主にヒト)の体内で起きる反応をより深く学び理解を深める。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	自身も生物であるということから生物に対するの関心を持ち、常に「なぜ?」ということ意識しながら積極的に学習活動をしている。	現象の理由を予測することや実験(実習)結果等から論理的かつ発展的に考えることができる。	実験(実習)において、器具の取り扱い方や要領を工夫しているか。また、結果から科学的な推論に発展できる。	生物学的な用語やその意味、また、さまざまな現象の意味を理解できている。
評 価 方 法	授業に取り組む姿勢 ノートの記載内容 観察・実験等 教科書・問題集の問題 定期考査	授業に取り組む姿勢 ノートの記載内容 観察・実験等 教科書・問題集の問題 定期考査	授業に取り組む姿勢 ノートの記載内容 観察・実験等 教科書・問題集の問題 定期考査	授業に取り組む姿勢 ノートの記載内容 観察・実験等 教科書・問題集の問題 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	細胞と分子	生体物質と細胞 細胞膜の働きとタンパク質 さまざまなタンパク質の働き	○	○	○	○	a:細胞の成分や研究方法、細胞の構造をに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:細胞の活動という見地から、生体膜やタンパク質の構造の必要性の考察ができています。 c:細胞の構造物や組織の観察により、観察の技能を習得するとともに、実物を実感する。 d:生命活動を支える物質や構造物の名称や役割に関する知識を身につけている。	授業に取り 組む姿勢 ノートの記 載内容 観察・実験 教科書・問 題集の問 題 定期考査
2学期	代謝 生命情報の発現	代謝とエネルギー 炭酸同化 窒素同化 異化	○	○	○	○	a:生体内でのいろいろな化学反応に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:同化と異化は生物にとってどのような意味があるのか、その仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c:生体内の代謝に関する実験等を通じ、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:生命活動に必要なエネルギー代謝について理解し、知識を身につけている。	授業に取り 組む姿勢 ノートの記 載内容 観察・実験 教科書・問 題集の問 題 定期考査
		遺伝情報とその発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー	○	○	○	○	a:遺伝現象と情報ともに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:DNAの遺伝情報をもとに、どのように発現していくのかを考察し、導き出した考えを表現している。 c:DNAに関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に、記録、整理している。 d:DNAの情報をもとに、体ができて行くまでの過程や遺伝子組み換えなどの技術が今後どのように発展していく可能性があるのかを理解し、知識を身につけている。	
3学期	生殖と発生	有性生殖 動物の生殖と発生 植物の生殖と発生	○	○	○	○	a:生物が子孫を残す意味と、その方法に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:進化の程度による生殖方法・発生過程の違いに関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:発生に関する観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:有性生殖の特徴・利点、植物・動物それぞれの生殖方法・発生過程を理解し、整理した知識を身につけている。	授業に取り 組む姿勢 ノートの記 載内容 観察・実験 教科書・問 題集の問 題 定期考査

※ 表中の観点について

a: 関心・意欲・態度

b: 思考・判断・表現

c: 技能

d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

「学校設定教科」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	看護総合	科目	(学)看護医療基礎Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「 」 (出版)						
副教材等	「 」 (出版)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

社会の中での看護医療問題に関心を持ち、常に新聞等で最新の情報について確認しておく。それに対して自分の意見を持ち、文章表現できるような力を養う。看護医療従事者として働く上で必要な資質を身につける。日々疑問に思ったことについて関心を持ち、自ら探究していく力を養う。

2. 学習の到達目標

看護医療の精神を学び、人格を向上させ、各人なりの看護感を育てる芽をつくる。専門職として看護とはどのようなものかを理解する。看護に関する興味・関心を高め、将来の進路に繋げる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	常に社会の中での看護医療問題に関心を持つ。	看護医療従事者として働く上で必要な資質を身につけ、それを言語表現・文章表現する。	看護技能の基礎となる救急看護を学ぶ。	得た知識をもとに、看護医療の現場で生かしていくことを考える。
評 価 方 法	授業への取り組み レポート 小論文 定期考査	授業への取り組み レポート 小論文 定期考査	授業への取り組み レポート 小論文 定期考査	授業への取り組み レポート 小論文 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	基礎看護学	・看護の心得 ・看護の基礎知識	○	○		○	a: 関心・意欲をもって平常の授業に取り組んでいるか b: 看護師として働くことに覚悟を決めているか c: d: 看護師として働く責任について理解できたか	授業態度レポート
		・チーム医療 ・働く場所 ・患者とその家族	○	○		○	a: 関心・意欲をもって平常の授業に取り組んでいるか b: 看護師として働くことに覚悟を決めているか c: d: チーム医療の重要性や患者とその家族の心理を理解できたか	授業態度レポート 定期考査
2	災害救急看護学	・災害看護と救急看護についての、基礎知識と看護職の役割	○	○	○	○	a: 災害時・救急時の看護に関心を持てたか b: 災害時・救急時の看護師の役割について考えることができたか c: 救急救命法の実践 d: 災害時・救急時におきやすい疾患と看護について理解できたか	授業態度レポート
	高大連携プログラムにより、大阪府立大学より出張講義を受ける	・デートDV、DV,LGBTについてグループに分かれ調べ学習	○	○	○	○	a: デートDV,DV,LGBTに関心を持ったか b: 上記のような患者への対応について考えたか c: 調べ学習・発表 d: さまざまな患者への対応・配慮について理解できたか	授業態度レポート 発表内容 定期考査
3	ナイチンゲールについて	・ナイチンゲール覚書の13項目について調べ学習および発表をする。	○	○	○	○	a: ナイチンゲール覚書に関心を持ったか b: ヘンダーソン14項目と結びつける c: 発表する力 d: 覚書をもとに患者に対応できるか	授業態度レポート 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
 c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○をつけている。

「学校設定教科」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	看護総合	科目	(学)カウンセリング入門	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	プリント教材						
副教材等	プリント教材						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

ピア・サポートのトレーニングを中心に、様々なワークを通して体験的に学ぶことが大切です。ワークを通して、自分の存在や周囲の人々の存在の大切さを実感しましょう。

2. 学習の到達目標

自分の心や他人の心とのつきあい方を学び、コミュニケーション力をつける。
医療看護・福祉に興味のある人は、専門的な知識を身につけることで、将来の進路にも役立てることができる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	カウンセリングに関心を持ち、良好な人間関係を構築するための課題に取り組むとともに、カウンセリングに関する幅広い視野と社会を生き抜く力を身につけている。	日常生活から派生する人間関係に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	カウンセリングやコミュニケーションに関する基礎的な技術(聴く力・話す力)を身につけ、カウンセリングに関する諸活動に対応することをめざして、その技術を適切に活用している。	現代社会における社会構造の変容や特色について理解し、カウンセリングに関する基礎的な知識を身につけるとともに、カウンセリングの意義や役割を理解している。
評 価 方 法	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・アンケート	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	出会いのワーク	・アイスブレイキングのワーク ・デートゲーム	○	○	○	○	a: 関心意欲を持ってワークに参加している b: カウンセリング入門を選択した目的を確認し、明確化した c: ワークを通して場の作り方を学ぶ d: 出会いの場での心の持ちようを理解した	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出
1	自分を知る	・エゴグラム ・理想のエゴグラム ・プラスのストローク ・自分をほめるワーク	○	○	○	○	a: 関心意欲を持ってワークに参加している b: ワークを通して様々な心の特徴を知り、自分と人を信じることの大切さを知る c: エゴグラムや理想のエゴグラムの方法を知る d: 自分の知人関係の特徴を知り、理想の自分に高める方法を理解する	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・確認小テスト
1	コミュニケーションとは	・言語以外の非言語のコミュニケーション ・パーソナルスペース ・表情を読み取る	○	○	○	○	a: 関心意欲を持ってワークに参加している b: 非言語でのコミュニケーションの重要性を体験する c: 表情を読み取ることの体験を日常に生かす d: パーソナルスペースの重要性を理解する	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・確認小テスト
1	聴く練習	・積極的な聴き方 ・アクティブ・リスニング ・質問技法	○	○	○	○	a: 関心意欲を持ってワークに参加している b: 様々な話の聴き方を体験的に知る c: FELOR、受容、繰り返し、などの技法を学ぶ d: 積極的な話の聴き方の重要性を理解する	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・確認小テスト
2	上手な話し方	・アサーション ・一方通行・双方向	○	○	○	○	a: 関心意欲を持ってワークに参加している b: 様々な話の伝え方を体験的に知る c: アサーティブな表現技法を身につける d: 双方向のコミュニケーションの重要性を理解する	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・確認小テスト

2	問題の解決	・紙上相談 ・ブレインストーミング ・アルスの法則を用いての対立の解消	○	○	○	○	a: 関心意欲を持ってワークに参加している b: 紙上やブレインストーミングなどを体験することで人の悩みに触れる c: ピア・メディエーションの技法を身につける d: 問題を解決するのは当事者自身であることを理解する	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・確認小テスト
2	自己防衛	・ストレスマネジメント ・レスキューとサポートの違い ・アンガーマネジメント	○	○	○	○	a: 関心意欲を持ってワークに参加している b: ストレス度を知り、ストレスマネジメントの必要性を知る c: ストレス解消法やアンガーマネジメントの方法を知る d: サポーターとしての限界を理解することの大切さを学ぶ	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・確認小テスト
3	臨床心理学	・フロイト・ユングの心理学 ・性格検査 ・箱庭療法 ・コラージュ	○	○	○	○	a: 臨床心理学に関心意欲を持って取り組んだ b: 性格検査や心理療法の必要性和効果を学ぶ c: 箱庭療法やコラージュの実践 d: 様々な性格検査や心理療法の重要性を理解する	・授業態度 ・ワークへの参加度 ・振り返りの提出 ・確認小テスト

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けてい